

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
						

様式第1号

令和 5 年 10 月 6 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員

浅野 和昭



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分

調査研究

研修会

要請・陳情活動

2 訪 問 先

加藤勝信衆議院議員、小野田きみ参議院議員
平沼正二郎衆議院議員
文部科学省初等中等教育局児童生徒課

3 内 容

岡山県選出の国会議員へは真庭市について意見交換、陳情活動
文部科学省へは児童・生徒の不登校について調査研究

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を

視察行程表

	2023/11/27 (月)	2023/11/28 (火)	2023/11/29 (水)
8:00	7:15~8:25		
9:00	JAL232便		
10:00		平沼正二郎衆議院議員事務所	文部科学省 初等中等教育局
11:00	モノレール		
12:00			
13:00			
14:00	加藤勝信衆議院議員事務所	小野田きみ参議院議員事務所	モノレール
15:00			
16:00			JAL239便
17:00			16:50~18:15

飛行機	岡山⇒羽田		羽田⇒岡山
宿泊先	チェックイン新橋	チェックイン新橋	
	東京都港区新橋2・15・17	東京都港区新橋2・15・17	
	03 - 3501 - 5100	03 - 3501 - 5100	



8様式第2号

報 告 書

令和 5 年 12 月 12 日

真庭市議会議員 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 浅野 和昭



下記のとおり政務活動費を使用して調査研究、研修会、要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 5 年 11 月 27 日 (午前・午後) 5時00分 至 令和 5 年 11 月 29 日 (午前・午後) 20時00分
2	場 所	東京都千代田区永田町2-1-2 加藤勝信・杉田水脈代議士 東京都千代田区永田町2-1-1 小野田紀美参議院議員 東京都千代田区永田町1-6-1 平沼正二郎代議士 東京都千代田区霞が関3-2-2 文部科学省児童生徒課 東京都千代田区霞が関1-2-2 厚生労働省地域医療計画課 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団公益事業部こども支援チーム 東京都千代田区有楽町2-10-1認定NPOふるさと回帰支援センター 東京都江東区有明3-11-1 国際ロボット展2023
3	用 件	・真庭地域の課題について 岡山県選出国會議員 ・不登校児支援について 文部科学省 ・医師の人材育成について 厚生労働省 ・こどもの居場所について 日本財団 ・真庭市への移住について NPOふるさと回帰支援センター



4 概 要

報告書（継紙）

・岡山県選出の国会議員と国政、岡山県政、真庭市政について意見交換をしました。真庭市のためにも国会議員、県議、市議間での連携した活動が、より地域に貢献できるという事を確認しました。姫新線存続、人口減少等についても意見交換しました。

また、不登校児・医師等の人材育成についての意見も伺いました。

財務省が行う診療所の報酬改定により小規模な医療機関の経営が苦しくなり、今後の存続が厳しくなるという事も伺いました。

・杉田代議士からは若年者の契約による被害に対する国の動向について教わりました。真庭市においても若年者が契約等による被害を防ぐためにも、未成年のうちからの啓蒙活動や具体的な主権者教育が必要であると感じました。

・文部科学省では不登校児に対する支援や国の動向について伺いました。COCOROプラン、校内フリースクールの設置促進のための予算措置、ICT導入補助金、アウトリーチ支援など、既存の事業の他に、令和6年度からの新事業も教わりました。

・厚生労働省では医師等の人材育成について厚生労働省の権限や支援対象、法令等について伺いました。厚労省では都道府県以外の地方公共団体に対して支援できないため、自治体独自で可能な施策について助言をいただきました。医師不足、偏在化に伴う諸問題など今後の課題解決のための医療法の解釈についても教わりました。

・日本財団ではこどもの居場所づくりについて学びました。現在、支援が必要な子どもたちがどのような環境で育っているか、どのような支援を必要としているかも教わりました。第三の居場所の必要性や子どもの育成に必要な体験などの他に、日本財団とB&G財団のそれぞれの役割についても教わりました。

・ふるさと回帰支援センターでは事務局長、西日本担当部長から全国的な移住者のニーズ、真庭市の定住交流センターの活動状況について伺いました。交流定住センターが回帰支援センターの会員になった事に伴いセミナールームの使用が可能になったとの事で、実際に移住

者に対するセミナー会場も見学しました。

・国際ロボット展2023では市役所庁舎や温泉病院等に導入可能なロボットの見学を行いました。細分化された能力は多岐にわたり、市民や患者の利便性向上と職員の軽減負担に繋がると共に、人件費に換算すると時給約50円で休みなく稼働させることが可能との事でした。案内ロボ、運搬ロボの導入や、システムも構築すれば屋外やエレベーターを利用した移動も可能になるとの事でした。

視察で得た知識のみならず、その後の法改正や国、県の動向についても継続して学び、真庭市政へと活かして参りたいと思います。

内閣府大臣政務官
兼復興大臣政務官

衆議院議員

平沼 正二郎



衆議院議員

杉田 水脈

衆議院議員 杉田 水脈 みお

政策担当
秘書

嘉悦 彩

衆議院議員

自由民主党社会保障制度調査会長
税制調査会小委員長代理

加藤 勝信

衆議院議員

加藤 勝信

政策担当
秘書

加藤 則和

参議院議員 小野田 紀美

MIKIKO
UNOZAWA

事務局秘書

宇野澤 美貴子

参議院議員 小野田 紀美

ERIKA
YAMAGUCHI

政策秘書

山口 栄利香



文部科学省

文部科学省 初等中等教育局
児童生徒課 生徒指導室
生徒指導第一係

係長 神崎 拓真

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
TEL: 03-5253-4111 [内線 3299]
E-mail: t-kanzaki@mext.go.jp



文部科学省

文部科学省 初等中等教育局
児童生徒課 生徒指導室
生徒指導第一係

堀 拓海

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
TEL: 03-5253-4111 [内線 3299]
E-mail: takumi-hori@mext.go.jp



ひと、くらし
みらいのために

厚生労働省 医政局 地域医療計画課
医師確保等地域医療対策室
医師確保対策専門官

石原 寛人

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
電話: (03)5253-1111 内線 4148
夜間: (03)3595-2186
E-mail: ishihara-hiroto@mhlw.go.jp



認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター

事務局長 江森 孝至
EMORI TAKASHI



特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
TEL.03-6273-4401 FAX.03-6273-4404
E-mail: emori@furusatokaiki.net
<https://www.furusatokaiki.net/>



認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター

20th
おかげさまで、20周年

相談部門
西日本担当部長 早田 比呂美
WASADA HIROMI

特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
TEL.03-6273-4401 FAX.03-6273-4404
E-mail: wasada@furusatokaiki.net
<https://www.furusatokaiki.net/>



認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター

相談部門
西日本担当 主任 大谷 純
OTANI JUN

特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
TEL.03-6273-4401 FAX.03-6273-4404
E-mail: otani@furusatokaiki.net
<https://www.furusatokaiki.net/>

公益事業部
子ども支援チーム
チームリーダー



金子 知史

日本財団
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2
Office 03-6229-5254
Mobile [REDACTED]
t_kaneko@ps.nippon-foundation.or.jp
www.nippon-foundation.or.jp